

「立ち上がる農山漁村」選定案概要書

取組分野：【食】

1. 都道府県、市町村 福岡県飯塚市^{いいづかし}
2. 事業者名 筑豊地域直売所連絡協議会
3. 取組みの名称 地域内直売所の連携による共通課題解決と地域貢献
4. 取組概要等

概要

平成12年頃から筑豊地域内の直売所の増加を機に前身の農産物直売所ネットワーク研究会にてお互いの情報交換を主とした研究会活動を開始。さらなる組織強化、共同イベントの開催や研修会等の企画運営を行うため筑豊地域農業活性化事業（県事業）を活用し、平成14年7月に筑豊地域内の15の直売所が参加して筑豊地域直売所連絡協議会を設立。現在20の直売所が加入している。

主なイベントとして年2回開催している料理コンテストは、参加している直売所からの提案型の「我が直売所の自慢料理コンテスト」と消費者提案型の「旬の農産物を使った料理コンテスト」の双方向からの提案を特徴としている。

前者は、地域農産物の食べ方等情報発信を積極的に行うことと合わせて、審査員として地元小学校の保護者及び児童に参加してもらい、食育推進の一環にもなっている。後者は、消費者にレシピを考案してもらい、直売所及び地場産業への関心を高めてもらうと共に、消費者ニーズの把握手段としても活用している。また、出展作品をレシピとしてまとめ、市町村、JA、各直売所で無料配布しているほか、マスコミを活用したイベント開催の広報、地域外への各直売所のイベント情報誌の配布等により、積極的な情報発信を行っている。

協議会で開催する研修会経費は、各直売所の負担金を主な財源としながらも、補助事業等を活用して内容の充実に努めている。研修会は当初は個別な内容のものを単発的に行っていたが、近年は接客・展示方法、集客能力、安全・安心な農産物等、各直売所に共通する課題をテーマとして設定し、より効果的な方法で年2～3回実施するようになった。これにより各直売所共通の課題についての解決能力、意識及び資質の向上を図り、地域の直売所全体の能力の底上げを図っている。

活動の規模

項目	H14	H15	H16	H17	H18
加入店舗数	15	16	17	18	20
解説	平成14年7月設立				
会員数	2,774	2,891	3,127	3,233	3,897
解説	加入直売所の総会員数（人）				
売り上げ	2,632	2,895	3,038	2,971	3,309
解説	加入直売所の総売り上げ（百万円）				
イベント回数	2	3	3	2	3
解説	スタンプラリー、バスハイク、料理コンテスト等				
研修会開催回数	2	5	3	3	3
解説					
来店者数	2,102	2,391	2,416	2,327	2,618
解説	加入直売所の総来店者数（千人）				

活用している地域資源

- ・各直売所が持つノウハウや、共通課題解決のためのネットワーク
協議会を通してノウハウや共通課題を共有することにより個々の直売所では解決が難しい問題に対しても解決に向けて積極的に取り組むことができる。
- ・地場産農産物及び地域食材を使用した加工品
各直売所では、地場産農産物及び地域食材を使用した加工品を中心に販売している。主な品目：米、野菜、花き、加工品（惣菜、弁当、おかし等）

地域活性化のポイント

それぞれの直売所が、普段はライバル店という関係にありながらも、本協議会を通して、連絡調整や相互交流を行うことにより連携強化を図り、共通課題の解決に取り組み、地域の拠点となる直売所を目指すことにより地域農業の活性化に資することを目的とした活動を行っている。また、料理コンテストを通しての食育推進や情報発信による地域内外への地場産農産物のPRにも寄与している。加えて、各直売所が地場産農産物の供給拠点となることで地産地消推進の役割も担っている。

事業の今後の展開方向

これまで、接客マナー、展示方法を工夫した店舗づくり、イベント（集客）の仕掛け方や安全・安心な食の提供のための生産履歴記帳に関する研修等を通して消費者のニーズに合った直売所をめざし、各々の直売所の抱える共通課題の解決に取り組んできた。今後も、これらの研修等で得た体験や知識を活かし、販売促進能力の向上、安全・安心な農産物を提供するための体制確立等さらなる資質向上を図る。また、今後の共通課題としてお客の滞在時間が短い、情報の受発信量の不足等の課題があり、これらの課題解決に向け、試食スペース設置やHP等を活用した双方向の情報発信等の取り組みに関する先進地視察、研修会、意見交換等の開催を行う。また、料理コンテストに関しては消費者との交流、情報交換の場として継続的に開催していく。

